



▲左から、小田まちづくり情報特派員、阿部校長先生（「教習戦隊マツジレンジャー」と一緒に）

高齢者講習って どんなことしているの？

高齢者の自動車運転。今、世間ではなにかと注目されてますね。

70歳以上の方が必ず受ける「高齢者講習」という制度があるのを知っていますか？高齢者講習を受けることで、少しでも長く安全に車の運転をしていただくためのものです。

今回、町内にある「松田自動車学校」で行われた高齢者講習に密着してきました！



企画政策課 ☎84-0312

短期高齢者講習の流れ

1



高齢者講習制度の説明や近隣地域の交通事業を交えた交通ルールのお話を聞きます。先生と受講者とで質問し合いながら講義が進められます。

2



動体視力や夜間視力、視野を測定します。測定結果はあくまで参考値。自身の身体機能について把握することが大切です。先生から高齢者の身体機能を考慮した運転の工夫についても説明されます。

3



教習車に乗って、運転をします。長年の運転の癖や注意点について先生がアドバイスしてくれます。慣れない車の運転で緊張するかもしれませんが、試験ではありませんので安心して下さいね。

早めの予約を！

高齢者講習の案内のはがきが警察から届いたら、なるべく早く松田自動車学校へご連絡を！既に3~4か月待ちの状況のようです。免許失効にならないためにも早い予約が肝心です。

また、松田自動車学校の窓口でも予約ができます。窓口で予約の際は、届いたはがきの持参も忘れずに！

連絡先▶▶▶
松田自動車学校 ☎83-5511



松田自動車学校HP

取材を終えて

このページでご紹介した講習や検査は、ごく一部です。受講者さんのお話しでは「より安全に乗り続けるためには必要なものだよ」とのこと。便利に必要なクルマも、一つ操作を誤れば凶器にもなりかねません。年齢に応じた様々な対応が必要ですね。

講習の先生も明るく楽しい方で、色んな質問にも笑顔で答えていました。昔の教習所の先生って怖かったのに…(笑)

まちづくり情報特派員 小田 猛

短期高齢者講習に密着！

今回、いくつかある高齢者講習の中で、「短期高齢者講習」に密着しました。講習を取材して、特に印象に残ったのは、夜間視力測定（左②）でのこと。10代では数秒で暗さに反応できるものが、70代では平均1分近くかかることを知りビックリしました。

「しかし、それを自覚することで、より一層、安全安心な運転を心掛けることができるそうです。受講後に皆さんから感想を伺うと、「今後も安全に運転を続けるためにも、高齢者講習の必要性を強く感じました。」「普段からアクセルやブレーキの踏み間違えには特に注意しています。」など、平日頃から努力されていることを痛感しました。

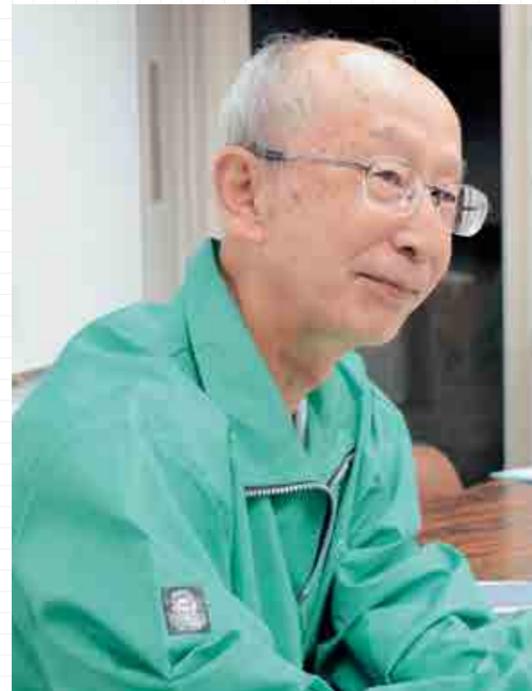
長く安全に運転し続けるために

都会とは違い、地方では車が必須という家庭も少なくありません。免許を返納した後に、家族が病気になる、病院に困ってしまったという事例もあるようです。

身体機能の衰えは、誰にでも起こります。己を過信せず安全な運転を長く出来るように訓練し、当事者だけではなく、家族みんなで相談して、最良の方法を見つけましょう。高齢者講習は、そのための一つの判断材料であり、車に長く乗り続けるための講習でもあるのですから。

子どもたちの 笑顔のために

開成町青少年指導員連絡協議会長の佐藤さんに、
青少年指導員の魅力とその思いをお聞きしました。



開成町青少年指導員連絡協議会長
佐藤 勝彦さん（上延沢）

プロフィール ●平成18年から青少年指導員として活動。平成28年から現在に至るまで、開成町青少年指導員連絡協議会長に就任。

間近で見られる子どもたちの笑顔

私は、地域からの推薦がきっかけで青少年指導員（以下、指導員）になりました。受動的なきっかけでしたが、もともと子どもが好きだったため、子どもたちのために自分ができることがあればとの思いがありました。最初の頃は、何をしたらいいのだろうと漠然と不安を感じていましたが、イベントを通して子どもたちと触れ合うことで、自分も一緒に楽しむようになりました。

指導員になって、10年以上経ちますが、子どもたちから「楽しかった」「また参加したい」という言葉を聞くと、その度に指導員になって良かったなと思います。子どもたち

世代を超えた絆づくり

指導員主催のイベントを企画する際は、「どうしたら子どもたちが喜ぶか。子どもたちにとってよい体験になるか」を考え、自分たちの知識や経験をもとにアイデアを出し合っています。指導員たちは人柄も温かく、とてもいい雰囲気の中で、チーム一丸となって取り組んでいます。大人になると新しい出会いが少なくなりますが、指導員の活動を通して、世代を超えた絆づくりもできました。

現在、指導員はベテランと新任者で構成されており、中間層が欠けている状態です。様々な年代の方がかかることで、子どもたちにもよい影響を与えられると思っています。指導員の改選が来年度実施されます。「子どもが好き」という思いがあれば、十分です。地域の子どもの笑顔のために、ぜひ指導員として一緒に活動しましょう。

青少年指導員になりませんか？

青少年指導員は、各地区で1~2人の方が務めています。任期は2年で、来年度改選があります。

この特集を読んで、青少年指導員に興味を持った方や子どもが好きな方、青少年指導員として町の子どもたちと一緒に見守りませんか？立候補して下さる方は、教育総務課へご連絡ください。

教育総務課 ☎82-5221

自分の子どもだけではなく、地域の子どもたちの成長を間近で見ることができて、嬉しいです。

青少年指導員同士は仲が良く、いい雰囲気の中で活動しています。大人になってから、仲間づくりができたことも喜びの一つです！



いしづか かずえ
石塚 一恵さん
(宮台)

やまぐち まりこ
山口 共子さん
(櫻本)